



# 並木中等進路だより

茨城県立並木中等教育学校学習進路部

NO.2

MAY 9, 2015

## 並木中等進路関係 6年間のロードマップ

この春卒業した2回生もほぼ順調にそれぞれの志望校へと進学して行きました。試行錯誤ながら、今まで築いてきた並木中等での「**6年間を通した生徒たちの発達段階に応じたキャリア教育**」が間違っていないことを生徒たちが証明してくれています。

ふつうの中学校では、せっかく学活・道徳・総合の時間等の中で「勤労観」(人は何のために仕事をするのか・自分はというふう社会の役に立ちたいのか)や「職業観」(どんな仕事があって自分は何になりたいのか)を継続して考えてきても、それとは関係なく進路を成績によって輪切りされてしまう高校受験によって、そのキャリア教育が中断されてしまいます。一方、**大学受験**は高校入試とは違い、かなり目的意識がはっきりとしてきます。「自分は将来こういう分野で人のために働きたい。だから、この大学のこの学部学科で勉強に励みたい。」というふうには、それ自体がまさに**キャリアデザインの1つの通過点**なのです。本校は、大学卒業後の目標を見据えたキャリア教育を**6年間継続**して実践していける場だと考えます。学校の授業では、高校入試がない分、前期課程から国数英を中心に先取り学習が行われています。同様に、進路指導においても、職業研究だけでなく、本来高校から始まる**大学学部学科研究や大学研究等も前期課程後半から開始**しております。そして5・6年次においては、一人ひとりの**進路実現**のため、各自が**志を高く持ち続け可能性を最大限に**伸ばせるような指導をしてまいります。どの年次においても、並木中等でしか体験できない様々な刺激をどんどん受けて、自分の**未来の設計図を少しずつ形**にしていってほしいと願っています。

以下に並木中等1年次から6年次までの進路関係行事と模擬試験等を掲載いたしますので、それぞれの行事がもつ意味をご理解の上、ご協力いただければと思います。

	学習進路関係行事	模擬試験等
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習オリエンテーション</li> <li>●ゲストティーチャー職業講話(年数回)</li> <li>●職業調べ</li> <li>●夏休みKK[課題解決]週間&lt;学習会&gt;</li> <li>●校外学習(職場見学等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●A<sup>+</sup> ネット学力推移調査①(4月)</li> <li>●A<sup>+</sup> ネット学力推移調査②(10月)</li> <li>●英検(1月) ●漢検</li> <li>●Z会アドバンスト(1月)</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ゲストティーチャー職業講話(年数回)</li> <li>●職業調べ</li> <li>●夏休みKK週間</li> <li>●校外学習(職場見学等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●A<sup>+</sup> ネット学力推移調査①(4月)</li> <li>●A<sup>+</sup> ネット学力推移調査②(10月)</li> <li>●英検(1月)</li> <li>●Z会アドバンスト(1月)</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学部学科についての進路ガイダンス</li> <li>●学部学科についての進路講演会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●A<sup>+</sup> ネット学力推移調査①(4月)</li> <li>●A<sup>+</sup> ネット学力推移調査②(10月)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●夏休みKK週間</li> <li>●マイフューチャーセミナー職業講話(3・4年)</li> <li>●筑波大学訪問(学部学科研究)</li> <li>●大学についての進路講演会</li> <li>●大学と入試についての進路ガイダンス</li> <li>●保護者向け進路講演会</li> <li>●海外大学進学説明会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●英検(1月)</li> <li>●Z会アドバンスト(1月)</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3年間を見通した進路ガイダンス</li> <li>●教育実習生講話</li> <li>●大学出前授業(4・5年)</li> <li>●模擬試験・文理分け等についての進路講演会</li> <li>●夏課外</li> <li>●マイフューチャーセミナー職業講話(3・4年)</li> <li>●文理分け進路ガイダンス</li> <li>●保護者向け進路講演会</li> <li>●大学訪問・講義等(東大・一橋大・東工大)</li> <li>●大学入試についての進路ガイダンス</li> <li>●進路状況説明会(4・5年) ●春課外</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●GTEC(7月)</li> <li>●進研模試(7月)</li> <li>●河合全統模試(8月)</li> <li>●進研模試(10月)</li> <li>●校内センターチャレンジ(1月)</li> <li>●進研模試(1月)</li> <li>●英検(1月)</li> <li>●学研ハイレベル模試(3月)</li> <li>●小論文模試</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育実習生講話</li> <li>●大学出前授業(4・5年)</li> <li>●難関大を目標とするための進路講演会</li> <li>●夏課外</li> <li>●オープンキャンパスへの各自参加(報告書提出)</li> <li>●科目選択進路ガイダンス</li> <li>●保護者向け進路講演会</li> <li>●大学別進路説明会</li> <li>●進路状況説明会(4・5年) ●春課外</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●河合全統模試(5月)</li> <li>●GTEC(7月)</li> <li>●進研模試(7月)</li> <li>●河合全統模試(8月)</li> <li>●駿台模試10月</li> <li>●校内センターチャレンジ(1月)</li> <li>●進研模試(1月)</li> <li>●英検(1月)</li> <li>●プロシード模試(2月)</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路ガイダンス</li> <li>●進路講演会</li> <li>●大学別入試問題研究講座</li> <li>●夏課外</li> <li>●オープンキャンパスへの各自参加(任意)</li> <li>●センター試験出願説明会</li> <li>●センター試験受験説明会</li> <li>●センター試験自己採点</li> <li>●国公立2次出願検討</li> <li>●個別2次指導</li> <li>●推薦・AO・医学部受験生への面接指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●駿台全国模試(5月)</li> <li>●進研マーク(6月)</li> <li>●GTEC(7月)</li> <li>●進研記述(7月)</li> <li>●河合マーク(8月)or 難関大オープン夏</li> <li>●河合記述(8月)or 難関大オープン夏</li> <li>●<sup>ハ</sup>駿台マーク(9月)</li> <li>●河合記述(10月)</li> <li>●<sup>ハ</sup>駿台記述(10月)</li> <li>●<sup>ハ</sup>駿台マーク(11月)or 難関大オープン秋</li> <li>●河合センタープレ(11月)</li> <li>●(並木プレ1月)</li> </ul>

※行事や模擬試験等の予定は変更される場合があります

## 家庭の役割

家庭は、教育の原点であり、全ての教育の出発点である。基本的な生活習慣、豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断などの基本的な倫理観、自立心や自制心などは、愛情による絆で結ばれた家族との触れ合いを通じて、家庭で育まれるものである

これは、昨年度も紹介させていただいた「くまもと家庭教育支援条例」附則の一節です。並木中等教育学校での6年間、多感な生徒たちの成長を支えていくためには、学校だけでなく、教育における家庭の役割が大切なことは皆さんご存知の通りです。



また文部科学省では、「家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」三行詩というものを募集していますが、ここで昨年度のものをいくつかご紹介したいと思います。

一人で食べると さみしいご飯  
二人で食べると おいしいご飯  
家族で食べると 楽しいご飯



国立教育政策研究所の調査によると、朝ごはんをきちんととっている子どもほど成績がいいという結果が出ています。家庭での基本的な生活習慣が勉強にかなり影響していることは確かです。ぜひ前期課程のうちからしっかりと基本的な生活習慣をつけさせていただければと思います。



**つらい時 かぞくにはなして なやみゼロ**

人にとって中学・高校というのは、非常に多感な時期です。勉強や運動などの他にもいろんなことに悩みは尽きません。後で振り返ってみると「なぜあんなことで悩んでいたんだろう」ということがこの時期にはたくさんあるはずですが、でもそんなときに一番心を許せるのが家族の存在ではないでしょうか。ぜひ家庭がいつでも子どもたちにとっての緊急避難基地になれるよう、ふだんから子どもたちとのコミュニケーションを大切にしてください。

そうは言っても、実は悩みがあるのは子どもたちだけではなく、親も同じです。特に子育てに対する親の悩みはいつの世にも変わらずに存在します。最後にこんな三行詩を紹介しますので、うちの子難しくなってきたなと思ったら、ぜひ思い出してみてください。

**同じように育てても 同じようには育たない**

**子どもの数だけ楽しみがあり**

**子どもの数だけ夢がある**

